

## ○九州情報大学経営情報学部の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

九州情報大学は、ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネジメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、建学の精神、教育・研究上の目的（学則第1条・第3条）に基づいて、下記のとおり学習成果を定めます。

なお学習成果は、学士としてふさわしい力（「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経験と創造的思考力）のそれぞれの観点から測定・評価されます。

### 1.知識・理解

- 基礎総合科目の学習をとおして、多様な社会、文化のあり方について知識・理解を修得している。
- 専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営情報学と関連する諸分野にかかわる基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解を修得している。さらに以下の事項が求められる。
  - 大学が定めるレベルの数理・データサイエンス・AI に関する専門的な知識・理解を修得している。
  - IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。

### 2.汎用的技能

- ICT 関連科目の学習をとおして、マネジメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICT を駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。
- ゼミ・演習科目の学習をとおして、クラスの中で討論やプレゼンテーションを行うことにより、コミュニケーションスキルや論理的思考、問題解決力を修得している。

### 3.態度・志向性

- 1 年次必修科目「建学の精神と人生」の学習をとおして、建学の精神を理解し、進んで実践しようとする姿勢を身に付けている。
- 「建学の精神と人生」をはじめとする「基礎総合科目」やゼミ・演習科目の学習をとおして、ひとりの市民として責任感と倫理観をもって社会に参画できる態度・志向性を有している。
- ゼミ・演習クラスなどにおける共同行動等をとおして、チームワークや自己管理の重要性

を認識し、社会人としての責任を果たすために必要な倫理観を身に付けている。

#### 4.統合的な学習経験と創造的思考力

- 大学における学習経験を専門的、体系的に統合し、創造的な発想に基づく卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）を示すことができる。

### ○経営情報学科の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネジメントエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、経営情報学科の学習成果を以下のとおり定めます。

#### 1.知識・理解

- 専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営学と関連する諸分野の基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的な知識・理解を修得している。
- マネジメントと ICT の連関について高度で専門的な知識・理解を修得している。
- IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。
- 数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。

#### 2.汎用的技能

- 基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の多様な場面に対応できるマネジメント技能、ICT 技能を修得している。
- 簿記関連科目の学習をとおして、簿記に関する一定の水準の技能を修得している。

#### 3.態度・志向性

- 基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。
- 専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、マネジメントの高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しよう

とする態度・志向性を身に付けている。

#### 4.統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントと ICT に関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができる。

### **○情報ネットワーク学科の学習成果(Student Learning Outcomes)**

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なデジタルエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、情報ネットワーク学科の学習成果を以下のとおり定めます。

#### 1.知識・理解

- ・ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野等について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて高度で専門的な知識・理解を修得している。
- ・ICT とマネージメントの連関について専門的な知識・理解を修得している。
- ・IT パスポート合格と同等、あるいはそれ以上の高度で専門的な知識・理解を修得している。
- ・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。さらに応用基礎レベルの知識・理解を修得していることが望ましい。

#### 2.汎用的技能

- ・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の様々な場面に対応できる汎用的な ICT を修得している。

特にネットワーク、情報セキュリティ、プログラミング、データサイエンス、AI 等について高度で専門的な技能を修得している。

#### 3.態度・志向性

- ・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理

観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。

- 専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、ICT の高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

#### 4.統合的な学習経験と創造的思考力

- ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICT を中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができる。